



## 新型コロナウイルス感染 施設内クラスター発生

8月初旬に発熱などの有症状の入居者に県指定の抗原検査を実施したところ、琉和の森で初めて入居者が新型コロナウイルス感染症の陽性を認めました。翌日にも他の入居者が陽性を認めた為、沖縄県新型コロナウイルス施設支援班など関係機関との連携の下、施設指導班の現場指導を受け対応にあたりました。

沖縄県内は新型コロナウイルスの新規陽性者数が連日5千名以上出るなど猛威を振っている時期でもあり、陽性を認めても医療機関へ入院することは出来ず、施設内療養となりました。9月9日時点で入居者15名・職員6名が感染するクラスターになりました。

現在は今回のクラスターはほぼ収束に向かっています。

これまで長期間面会が出来ない期間が続いたなかで、更に今回のコロナ感染を受けて、ご家族の皆さまには多大なる不安とご心配をお掛けしてしまいました。今回の経験を踏まえ、今後はより一層感染対策を強化して取り組んでいきたいと思っております。

### 沖縄県施設班による現場指導



沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部 総括情報部の感染管理認定看護師2名が琉和の森の感染対策の状況及び施設を確認していただき、指導を受けました。